

資料 2

平成 27 年 8 月 27 日
千葉市 健康保険課

部会委員からの質問事項 (広域連合の標準システムの取扱いについて)

1 再委託の必要性について

現在、再委託をしている再委託先について、その必要性について確認すること。また、今後、新たに再委託をする場合は、その確認を慎重に行うこと。

※ 原則として再委託は禁止であることを考えれば、再委託をすれば安くできるからというだけでは、再委託は認めてはいけない。

<回答>

⇒ 委託先の契約は5年ごとに行っており、前回は平成24年度に行った。公募型で業者を募集した際、募集対象を一社ではなく、再委託先も含めた集合体と契約できる内容であった。再委託先の必要性については、その契約時にどのような再委託が必要かを検討したうえで委託先と契約を結ぶため、再委託は妥当である。

なお、週に1度、委託業者を全て集めた報告会を開き、業務内容を報告させることで、委託業務内容を管理している。

2 委託先、再委託先の社員の作業場所について

委託先、再委託先の社員が作業を行う場合、広域連合の施設内や、広域連合が契約しているデータセンターに来て作業を行うのか、あるいは、社内にデータを持ち帰って作業をするのか確認すること。

※ 外部へデータを持ち出すということになると、リスクは大きくなる可能性がある。

<回答>

⇒ 5つほどの委託のうち、1つは広域連合の職員と同じ作業場（資格保険課内、給付管理課内）でデータ抽出の補助等の業務に携わっている。

それ以外の業務については、データセンター内、委託先・再委託先の会社内が作業場所となる。委託先の作業場所がデータセンター内、外部会社内となる場合、年に数回、職員が現地に赴きセキュリティ監査を行っている。

3 サーバーの設置場所について

広域連合のサーバーは、広域連合の施設の中にあるのか、あるいは、データセンターにあるのか。データセンターにある場合、データセンターとの契約関係はどうなっているのか。

<回答>

⇒ 国保連合会経由で契約した保守業務の外部委託により、広域連合の施設外、千葉県内にデータセンターを設置している。なお、データセンターへは年に2回、広域連合の職員が現地でセキュリティ監査を行っている。

4 セキュリティ監査を行う職員について

委託先、再委託先に対して、広域連合の職員によるセキュリティ監査を年に一回行っている、とのことであるが、その職員はセキュリティについて十分な知識を持っているのか。また、どんな監査をしているのか。

<回答>

⇒ 広域連合は、2年に1度、外部機関によるセキュリティ監査を受けている。

この監査を受けることによって、広域連合の職員は、監査を行うための十分な知識を取得している。

なお、委託先、再委託先が広域連合の情報セキュリティポリシーを順守しているかの確認については、年1回の定期監査のほか、必要に応じて行っている。